

【平成 23 年度・後期学期・ミクロ経済学 I・課題 2】

☆ 締め切り：平成 23 年 11 月 15 日

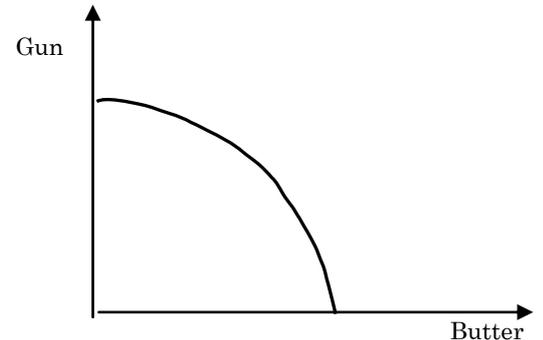
【問 1】日本 (J) とカナダ (C) が繊維製品(F 財)と自動車(A 財)の 2 財を以下の労働力のみで生産する場合について答えなさい。

製品 1 単位当りを生産するのに必要な労働力(時間)

	F 財	A 財
日本	20	200
カナダ	25	300

- (1) A 財について、絶対優位性がある国はどちらですか？ それはどうしてですか？
- (2) F 財について、絶対優位性がある国はどちらですか？ それはどうしてですか？
- (3) A 財について、比較優位性がある国はどちらですか？ それはどうしてですか？
- (4) F 財について、比較優位性がある国はどちらですか？ それはどうしてですか？
- (5) 日本とカナダはそれぞれどちらの生産に特化するべきですか？
- (6) 2 国間の財の交換率がどの比率の範囲であれば、これらの国は貿易をしますか？

【問 2】右の図のようにバター(Butter)と大砲(Gun)の 2 財を生産する生産可能曲線(PPF)与えられている。下の文章が表す点や図を書き入れなさい。



- (ア) 点線で描き入れなさい。点線の PPF は実線の PPF の状態から、経済にあるすべての産業の生産性を向上させる、一般的な技術革新が起こった後の図である。
- (イ) 点 A では、この点で示される雇用の組み合わせは技術革新以降では生産不可能である。
- (ウ) 点 B は、技術革新以前にはすべての資源を雇用している。
- (エ) 点 D では、この経済は雇用されていない資源がある。
- (オ) 点 F では、この経済の投入要素は最も効率よく雇用されているが、生産はバターに特化されている。

【問 3】完全競争市場の仮定を 5 つあげ、それらが満たされない場合を、反例を挙げて詳しく(反例とその説明は 3 行~7 行で) 説明しなさい。